

授業科目 ユニバーサルデザイン

【担当教員名】 藤枝 温子、関根 千佳、 森山 政与志、松本 明		対象学年	2	対象学科	義肢
		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	30
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	○				
【概要・一般目標：GI0】 共用品、バリアフリー・デザインおよびユニバーサルデザインが出てきた背景を知り、高齢者・障害者に配慮した設計手法であるガイド71の基本概念を修得する。「ユニバーサルデザインとは何か」を理解し、その基本概念の応用を修得する。ユニバーサルデザインの建築と情報分野における適用とその事例について学び、演習にて適用できる力を身につける。					
【学習目標・行動目標：SB0】 1. 共用品、バリアフリー・デザインおよびユニバーサルデザインが出てきた背景を理解する。 2. ユニバーサルデザインとは何かを習得する。 3. 情報のユニバーサルデザイン、ユビキタス情報社会とユニバーサルデザインを理解する。 4. 建築ならびに住宅改修におけるユニバーサルデザインを理解する。 5. 社会復帰とユニバーサルデザインを理解する。 6. 専門用語について英語を習得する。 7. ユニバーサルデザイン実技を習得する。					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	UDの背景と Guide71			1,6	講義と質疑応答
2	建築におけるユニバーサルデザイン			2,6	講義と質疑応答
3	住宅改修におけるユニバーサルデザイン			3,6	講義と質疑応答
4	社会復帰とユニバーサルデザイン			3,6	講義と質疑応答
5	ユニバーサルデザインとは何か			4,6	講義と質疑応答
6	情報のユニバーサルデザイン			4,6	講義と質疑応答
7	ユビキタス情報社会とユニバーサルデザイン			5,6	講義と質疑応答
8	ユニバーサルデザインの本質と構築を邪魔するもの			6,7	講義と質疑応答
9	特性を理解する重要性と構築の手法			6,7	講義と質疑応答
10	演習：地域等に見受けられる現状からユニバーサルデザインを考える（全体）			6,7	講義と質疑応答
11	演習：テーマとニーズの設定（グループまたは個人）			6,7	講義と質疑応答
12	演習：構築のための手法の確立（グループまたは個人）			6,7	講義と質疑応答
13	演習：まとめと課題（グループまたは個人）			6,7	講義と質疑応答
14	演習：発表と総評			6,7	講義と質疑応答
15	試験			6,7	
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		プリント、板書、ビデオ			
参考書		スローなユビキタスライフ	関根千佳	地湧社	2005・1,200円
		Introduction To Rehabilitation Engineering and Assistive Technology	R. Cooper, H. Ohnabe, D. A. Hobson	Taylor and Francis Press	2006
その他の資料					
【評価方法】 試験結果に出席状況や授業態度を考慮して総合的に評価する。			【履修上の留意点】 問題解決能力だけでなく、課題発見能力にも力をいれるので、積極的に質疑応答に参加すること。		